

紙芝居への「思い」

昨年の11月23日付長崎新聞のローカル版に「紙芝居に平和託す」という記事が掲載されました。本校の3年生は昨年度から「平和への発信を」をテーマに、五島市遺族会の出口久人さんの戦争体験を題材にした紙芝居制作に取り組んでいますが、その取組が大きく取り上げられたのです。

反響の大きさから、地域の高齢化が進み、戦争体験者が減少していく中で、このような取組が意義深いものであることを改めて実感しました。

出口さんや子供たちの「思い」はつながります。昨年12月22日付長崎新聞の「声～みんなの広場」の欄に、旧岐宿小学校長の矢口進さんがこの記事を読んだ「思い」を投稿しています。



【デイサービスで紙芝居を披露する3年生】

11月23日付本紙「地域総合面」で「紙芝居に平和託す」の記事を読み、感慨深かった。五島市立岐宿中の3年生が、市遺族会の出口久人さんの戦争体験を紙芝居に制作して上演したことを大きく取り上げていた。

出口さんから電話があり、本紙に掲載されることを知った。出口さんとは、私が旧岐宿小に勤務した時、平和学習の講師として招いたのが出会い。岐宿を離れ16年が過ぎたが「先生、懐かしかな」の声に感激した。

戦時中を生きた方々の体験を対面で聞く機会は限られてきた。出口さんも「もう子どもたちの前に立って話すのは難しい」と言われた。そのような状況で、岐宿中の実践は平和を受け継ぐバトンともなり、意義は大きい。

現役の頃、8月9日の講話には毎年悩んだ。未経験の内容を話すのは苦しさも伴う。岐宿小勤務時、長崎原爆がさく裂した数時間後に父と妹を探しに爆心地に入った義兄の証言を聞き、学習資料を書いた。退職するまで活用したが、実体験を持つ力を毎回痛感した。

次世代へ平和な世の中をいかに引き継ぐか、大きな課題だが、今回の出口さんと岐宿中の連携、融合の素晴らしさを改めて実感する。

今年は終戦から80年を迎えます。出口さんや矢口先生の「思い」を大切にしながら、今後の平和学習の在り方を考えていきたいと思います。



「学校評価」から伝えたいこと

2学期の学校評価への御協力ありがとうございました。この結果については、1月17日付の文書でお知らせをしています。ご覧いただけたでしょうか？

さて、私が着目したのは、保護者評価の低評価項目です。

- ①「子供は目標を持って意欲的に学習に取り組んでいる」(評価2.8)
- ②「子供は規則正しい生活や食事・運動を意識し、心身の健康に努めている」(評価2.9)
- ③「子供はスマホやタブレット等の節度ある利用ができている」(評価2.7)

※①は生徒・職員も低評価 ②③は職員も低評価

この結果から、

岐宿中の多くの子供たちは、スマホやゲームに費やす時間が多いため、規則正しい生活を送ることが難しく、その結果、学習に意識が向きにくい

ということが言えるのではないかと考えました。本校生徒の大きな課題です。この課題を解決するために、学校が取り組んでいくことと保護者にお願いしたいことに分けて述べたいと思います。

【学校が取り組んでいくこと】

私たち岐宿中学校職員は、日々の授業に力を入れます。子供たちに魅力ある授業を提供していくために、授業の改善に取り組みます。また、岐宿中の子供たちは、ふるさと「岐宿」が大好きです。ですから、できるだけ地域素材（岐宿（五島）の自然・歴史・文化等）や地域人材を活用した授業を仕組み、特に「主体的に学ぶ力」を高めます。

本校職員は、授業の反省や課題、個々の子供の様子、今後の指導の手立て等を「指導記録簿」というものに記録していますが、新学期が始まるに当たって、以下のコメントを職員に示しました。

休み中に先生方の指導記録簿をゆっくり拝見しました。題材名や学習内容を記し、その日の授業の反省や気付き等をみなさん書かれています。中には個々の子供の課題や成長、さらには、「教科」への思いを書かれている先生もいます。読むことが楽しくなります。

さて、子供たちの学習状況を評価し、自分自身の指導を振り返ると必然的に出くる言葉があります。先生たちの指導記録簿にもありました。「もっと～するべきだった」「～できればさらに深まった」「見通しが甘かった」「いかに同じまちがいをくり返さないように指導するのか追究してみたい」「指導のまずさがいったいどこにあるのか？それを見つけないといけない」

思い通りに子供たちを導けなかったことを、子供のせいにせず、自分自身の指導の至らなさや捉えていることから発せられる言葉です。

授業はなかなか思い通りにはいきません。思い通りにできたと思っても、生徒の学力に直結しないことも多々あります。だから、私たちは、日々の指導を振り返り、子供たちの資質能力を高めるための「手立てを講じなければ」ならないのです。この連続した営みを行っている者だけが授業を変えられるのだと思います。私たち教師の本分は学習指導です。3学期も授業改善に努めましょう！

【御家庭にお願いしたいこと】

多くの子供たちの「規則正しい生活習慣」を阻害するものは、スマホやタブレット等の情報端末やゲームなどです。適度に使えば、便利だし、気分転換にもなるし、いいこともたくさんあります。しかし、過度の使用・視聴による睡眠不足のため、授業に集中できなかったり、寝てしまったりする子供がいます。「スマホ」「ゲーム」が優先で、学校から出される宿題（課題）が出せず、不安になったり、出せない理由（ごまかし）をつくったりしている子供もいます。

そこで保護者の皆様に二つのお願いがあります。一つ目は、家族で話し合いを持ち、情報端末やゲームの使用時間等の約束事について、再確認したり、見直したりしていただけないでしょうか。二つ目は、「なぜ学ぶのか」「どうして学習が必要なのか」など、親の立場でお子様にゆっくりお話をしていただけないでしょうか。保護者の皆様もそれぞれの人生を歩む中で、成功や失敗をくり返ししながら「学び」の大切さを感じてきたと思います。中学校の3年間はあっという間に過ぎてしまいます。まだまだ純粋無垢なこの時期の子供たちだからこそ、話をしてほしいのです。もしかしたら、そのとき話をしたことが、その子供の一生の糧になるかもしれません。

未来ある岐宿中62名のすべての子供たちが「学びを大切にできる大人」になれるように、協力していきましょう。学校も頑張ります！

